

GAH NEWS

荒川区民総幸福度
GAH-Gross Arakawa Happiness

RILAC

No.13
平成24年7月

公益財団法人

荒川区自治総合研究所



写真左：

「荒川区民節電対策会議」の様子
今年も節電の取組に対して、区民の皆様や
事業者の方に御協力を呼びかけるため、
「節電会議」を開催いたしました。



写真右：

太陽光発電のソーラーパネル

学校等17施設の合計で年間約21万kWh、
荒川区内の学校の約1校分を発電していま
す。

荒川区民総幸福度 (GAH) とは

平成22年5月 刊行



荒川区民の幸福度指標のこと。荒川区では、区民の皆さんの幸福度を数値化し、区政の指標とするため、現在、調査研究を進めています。

荒川区自治総合研究所の本「RILACライブラリー」

全国の書店で絶賛発売中ですよ！

←GAHに関する本

『あたたかい地域社会を築くための指標』

子どもの貧困・社会排除問題に関する本→

『子どもの未来を守る』

RILACライブラリー第3弾として、地域力に関する本

『地域力の時代 絆がつくる幸福な地域社会』

8月上旬発行予定です。ご期待ください。

平成23年11月 刊行



本号では、
環境の持続可能性について
お知らせします。

未来の子どもたちの幸福のためにも——「持続可能性」

昨夏、荒川区では様々な節電の取り組みが各ご家庭をはじめ地域ぐるみで行われ、大きな成果を上げました。「緑のカーテン」「節電マイレージコンテスト」「街なか避暑地」などの取り組みは、昨年に引き続き今年も行います。こうした地球環境に配慮した生活への努力は、昨今の電力事情にかかわらず、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。



荒川区役所本庁舎の緑のカーテン
(モミジヒルガオ)



「あらかわ街なか避暑地」
(区施設を利用して頂くことで家庭使用電力を抑制。区の46施設で実施。)

今から20年前の1992年、ブラジルのリオデジャネイロで開催された地球サミットで採択された「環境と開発に関するリオ宣言」の中で、環境の「持続可能性」という考え方が表明されました。持続可能性とは、「限りある地球の資源を大事に使い、私たちの世代のためだけでなく、生れてくる世代のためにも、地球環境をより良くしよう」ということです。私たちの豊かさや幸福だけではなく、子どもたちの未来の幸福のことも考え、地球環境を美しいままに次代に継承していくという考え方です。

国の調査によれば約9割のご家庭が「今後も節電を続ける」と回答されたそうです。地球資源を大切に節電・省エネの暮らし方は、地球温暖化防止にも役立ちます。地球環境を持続可能なものにする地域ぐるみの努力は、人々のつながりの大切さや地域への愛着・誇りを改めて実感させるものであり、そして何よりも私たちだけでなく未来の子どもたちの幸福のためのものでもあります。一人ひとりが持てるものや小さな力をみんなで少しずつ分かち合って大きな幸せにつなげていくのが荒川区民総幸福度(GAH)のコンセプトです。今を生きる私たちの幸福、そしてこれから生れてくる全ての命の幸福のために、さまざまな工夫を凝らしつつ、無理のない範囲で、地球環境に貢献して参りましょう。

※荒川区民総幸福度(GAH)に関する研究プロジェクト中間報告書は当研究所(区役所北庁舎3階)、区立図書館、区民事務所、情報提供コーナー(区役所本庁舎2階)で閲覧できるほか、当研究所ホームページ(<http://www.rilac.or.jp/>)でご覧になれます。

GAH Gross
Arakawa
Happiness

編集発行 公益財団法人荒川区自治総合研究所

〒116-0002 東京都荒川区荒川2-11-1
TEL: 03-3802-4861 FAX: 03-3802-2592

URL: <http://www.rilac.or.jp/>
info@rilac.or.jp

編集部より

本紙では、荒川区民総幸福度に関する最新動向やニュース等をお届けしていきます。左記のメールアドレスまで、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

荒川区自治総合研究所は、荒川区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に政策提言等を行うことを目的として平成21年10月に設立された機関です。